科目ナンバリング	U-LAS02 20032 LJ37				
授業科目名<英訳>	言語比較論II Comparative Language Studies II		担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　堀口　大樹	
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金3	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

インド・ヨーロッパ語族バルト語派のラトビア語の実践的な学習を通じて、系統をともにする、または異にする言語間に見られることばの体系性や普遍性、相違点を明らかにする。

[到達目標]

ラトビア語の実践的な学習を通じて、ことばの普遍性や体系性、個別言語間の相違を明らかにする。

ことばをその周辺の諸現象（文化、社会、歴史、技術革新など）に有機的に関連付ける視点を得る。

既習の外国語や言語学の知識、言語学習の経験や学習に対する動機が、ゼロから半期で学ぶ言語の学習の進捗や理解度にどのように影響するかを自身で確かめる。

[授業計画と内容]

授業回数は全14回、その他期末試験、フィードバックの回を設ける。
1. 文字と発音
2. be動詞、名詞と形容詞の性・数
3. 第2変化動詞、位格
4. 第3変化動詞、対格
5. 属格
6. 第1変化動詞、与格
7. 復習
8. 動詞未来形
9. 動詞過去形、アスペクト
10. 形容詞の定・不定
11. 複合時制
12. 命令法、願望法
13. 義務法、伝聞法
14. 復習
≪試験≫
15. フィードバック
また、折に触れてラトビアの文化や社会についても紹介する。

[履修要件]

特になし。

言語比較論II(2)へ続く↓↓↓

言語比較論II(2)

[成績評価の方法・観点]

授業内外の課題（50%）・試験（50%）。

[教科書]

堀口大樹『ニューエクスプレスプラス　ラトヴィア語』（白水社、2018年）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業内外に限らず、言語の学習では音読を重視する。

[その他（オフィスアワー等）]

定員の上限は、教室定員に戻づく。

[主要授業科目（学部・学科名）]